米市 元豆六吊百至六三吊二百
紅粮價錢五吊四百文至五吊
雜市共上車三十餘輛
遼東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙　一連　一圓
一フールスカップ　仝　四圓
一中判洋紙　仝　二圓
一半紙 百枚　二十錢
一巻紙 四十枚續　十四錢

一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一寶箱　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戸棚　七圓五十錢以上十圓

一縞毛布　一枚ニ付　四圓以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line. Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

告料　一ヶ年以上　一ヶ月以內　銀十五仙乃至十
一長期連掲減價面議

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

滿州日報

○報價目　每月收取八角代價所及送報人并無分毫加增

○告白刊例　一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

特別廣告

◀資本金貳千四百萬圓
◀積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所　橫濱　神戶　東京　長崎　大阪　倫動　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　天津　北京　大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十番　支配人室　百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告

千代田丸　二十一日　門司行
營口丸　廿四日　仝

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告

日勝丸　二十日　門司、橫濱行
御代丸　十九日　門司行
日の出丸　二十日　大連、長崎行
鎮海丸　廿三日　門司、橫濱行
仁壽丸　十九日天津行（天津定期）
萬成源丸　龍口定期

乘船切符は弊行にて發賣仕候

松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候　滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告

盛航丸　廿四日入港
能登丸　廿日門司神戶行

代理店　東營口公園地横　ブクシュ兄弟商會　遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花襍布東洋綾子紋綢子布手巾花巾洋燒火柴綿表等類價值格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便官客近來辦理各項事宜於敝行甚廣招徠之意蒙著有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽務持周詳倘可面商一切事宜幸中外士商惠其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至　總司理人　田中類之助謹白
開設老爺閣街同感醫院內　電話（店一八三番　住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東南處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜並設有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水腳棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷　總司理人　秦亮卿謹白

東永茂

[illegible]油房在營口創辦油生意多年以本營業非祇做油房營業及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店業務交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事　潘玉田　副理事　金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致誤　本主人敬啓

仁裕號

保險運各樣火輪船生意兼賣各種洋什貨煤石等此佈　營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式褂子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸　丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許設運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明供照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撻秤）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船　摩耶山丸　順明丸　專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連平昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷　松茂洋行（電話五十二番）

矢野洋行

啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉格外輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也　營口元神廟街　電話百三十七號　本行主人啓

三井洋行　電話第六十六號　第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

周　鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧　總司理主人　周鶴雲　運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

飯塚工程局　材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本局新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧之需　本主人啓

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨與交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特佈週知
東櫃開設　營口南永世街北斗洋行
西　營口西北街塘子胡同內

上海　中井洋行　專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書精各式紙莊票包棉紗料草板紙張以及本機器連史紙訂五彩印字運墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也　中井洋行

志岐組木料棧　材料出售

啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克己凡中外士商光面議願請到本棧

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし　營口　瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白　營口瀛華實學院

丸重洋行　貨物運輸

啓者本行前在營口臺賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉價爲貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站內分莊面議不悞　電話　營口八拾八番　牛家屯四拾六番

東三省電報總局廣告

援運啓者頃接上海電稱　各省將軍都統督撫院提鎮藩臬運道臺各關局廳均鑒　美屬舊金山地震成災僑廣各國商工民人驟遭慘厄美廷迅即救援各國亦均自救其僑民華商三萬餘人產業全燬仰蒙　聖慈沛帑肆萬兩飭由瑞徵購買美金電匯梁使派周參贊馳往賑撫華民因而寓滬紳商奮起一切情形均見日報海寰等先就上海萬國紅十字會籌湊銀貳万兩寓滬粤商湊集洋伍千元匯美金電匯一面仍偕各紳商多方設法藉示華商以朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅謹此電聞餉尊處本擬籌撥款項請速滙美京梁使收撥或將款匯滬交商會彙取收條爲憑代買美金轉滙總祈迅速籌濟爲要呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉宇泰瑞徵京炳榛沈敦和任錫汾周晉鑣會籌朱佩珍施則敬任鳳苞等同叩魚等因合亟錄呈　各貴官商會　商惠鑒如有軫念同胞慨籌急賑者請速將款逕匯美京或上海否則逕請就近交由各該處中國電報局代收一面先給收條一面電匯滬轉以期迅速救我僑民　不勝企禱謹啓

東京電報

●滿洲博覽會と補助金 東京商業會議所會頭中野武營氏は京神坂の委員と共に政府當局者に滿洲博覽會開設方針及び經費の保護等に付乳したるに補助金を下附する能はずとの回答ありたりと

●首相の對滿洲意見 西園寺首相曰く大連は將來の輸出港として大に有望なり鐵道事業亦十分の見込あり滿洲の將來は經濟上最も有望なりと

●淸浦氏の滿韓視察 淸浦樞密顧問官近日滿韓視察の途に就く筈

●滿韓視察者の渡航 大坂府にては滿韓貿易の發展を期せん爲め專門業者二十名を視察の爲め派遣に決定す

●暹羅皇族御出發 暹羅皇族は二十日頃より釜山に向ひ韓國より淸國を經て歸國せらるゝ筈なり

●三菱の副社長 英國より歸朝の岩崎小彌太氏は三菱の副社長と爲れり

●男三郎の死刑 ▲男三郎は藥屋殺しにて死刑臀肉事件亦齋事件は證據不十分にて無罪の旨言ひ渡しありたり

(以上五月十七日發電)

●税法調査會の開會 第一回税法調査會十七日大藏省内にて開けり

●窮民の滿韓移住 東北凶作地方の有志者は窮民の壯丁若干を滿韓地方に移住せしめんと計畫せり

●伊藤侯の歸磯 伊藤侯十七日大磯に歸れり

●加藤正義氏の漫遊 加藤正義氏歐米漫遊の途に就けり

●獨乙郵船の遭難 長崎より横濱行の獨乙郵船ルーム號は十七日濃霧の爲め沖の島附近にて遭難せり乘組員は無事

(以上五月十八日發電)

北京電報

●税關問題と使臣會議 十六日北京駐在各國公使は伊太利公使館に會合し回收税關問題に付會議せり

●威海衛と濟鎭鐵道 威海衛租借地委員スチユワード、ロツクハート氏十六日青島に到着せり彼は濟南府に行き威海衛還附と濟南府より楊子江に達する鐵道布設權要求等の問題を山東巡撫と協議すべし

(以上五月十七日發電)

●淸國陸軍大演習 淸國陸軍は今秋南北兩軍聯合大演習を舉行する由

●税關問題と淸辨駁 税關問題に關する英米兩國公使の抗議に對し唐紹儀は元外務部の管轄下なる税關を今回税務大臣の下に移せしに過ぎず總税務司の權利を削れるに非ずと辨駁せり

●奉天の通商地 趙爾巽は奉天城西門外と停車場間五淸里四方の地を各國通商地と爲さんことを奏請せり

●内田公使の出發 内田公使は十九日北京二十日天津より歸朝の筈

(以上五月十八日發電)

倫敦電報

●英米の質問と淸國の回答 英米兩國の質問に對する回答に於て淸國政府は税務大臣任命の上諭は唯税務の取扱を敏活ならしめんためのみにて現在の狀態を變更せん意思更になしと辨明せり

●英國議會の議案通過 下院に於て複記投票議案は第二讀會を豫備役軍人議案は第三讀會を通過せり

●大赦令の可決 露國内閣會議に於て大赦令は可決せしも其範圍は未決なり

●露國議會の活氣 露國議會に於て奉答文草起に關する討論に於て中には激烈なる演說を以て良民を以て牢獄を充滿せしめたる當局者の懲罰を要求し帝國樞密院を攻擊せし者あり

(以上五月十六日發電)

●殖民地婚姻法案の通過 殖民地婚姻法案は滿場一致を以て上院第二讀會を通過せり之に依れは殖民地に於て死去せる妻の姉妹の結婚を合法なりと認む

●露國議會奉答文の結論 露國議會の奉答文は全篇の文詞强硬にして其終りに於て左の如く結論せり國民は國事犯四人に對して全部の大赦を渴望して止ます又長き遷延を忍ぶ能はず

●日英銀行の組織 日英銀行の組織發表せられ資本二〇、〇〇〇、〇〇〇ドルなり而し差當り半額の資金を募集す

●英大學の學位授與 十八日オクスフヲルド大學に於て淸國巡遊の大官に各參學位を授與す

(以上五月十七日發電)

伯林電報

●獨國議員の來遊 獨乙帝國議會議員の一部は極東實地視察の爲め十月神戶着の豫定

(五月十七日發電)

雜報

●露國當局の杞憂 露國新聞ストラナ記者か某當局者に就て聞きたる談話なりとて揭ぐる所に曰く極東には駐兵必要なり彼處には三十五万の兵を駐屯せしめ自餘の十五万の兵は露國に歸還さるへし然れども彼等の輸送は海路に依らずして鐵道に依ることとなる鐵道の輸送力微々たる故今之を輸送することと不可能なりと而して該當局者の言ふ所に依れは本年再び日露戰ふは免かれさるの數なりと云ひ其理由なりとして擧ぐる所に曰く日本人は沿海洲、東察加と薩哈嗹全島とを占領せされは止まさるものなりと

●淸國留學生の方針 北京政府は此程各總督巡撫に對し淸國學生にして未た普通學を習得せさる者は無益の費用を投して海外に留學せしめさるやう注意し海外に留學して高等の教育を受くる前必ず北京に送りて普通學を習得すへき旨訓令したりと

●東淸鐵道の將來 東淸鐵道は目下露國參謀本部に直屬し陸軍省提理部に於て之れが監理を爲す事となり居れるが右は追て遞信省に轉屬せしむへきや又た新設さるべき鐵道院の管轄たらしむるや等に就ては政府部内に於て協議中なりと

●對浦鹽貿易設備調査 浦鹽港は大騷亂後諸般の設備未た全く整頓せす糧食を始め其他日用品等の供給足らず輸入品は凡て無税なるを以て本邦商人も續々同地に入込み居れとも陸揚其他運搬上に少からさる不便あり當業者は大に迷惑し居る由なるが外務省にても是等の事情を察し目下貿易上の設備につきそれ〳〵考究中なりと

●唐紹儀氏の重用 近來唐紹儀か北京朝廷に日の出の勢ある事は誰しらぬ者なき程にして兩宮の御覺は更らなり各大官も頗る重用しつゝあり彼の露淸會議の如き西藏條約の如き或は南昌事件の如き皆な唐氏の苦心に頼らさるものなきを以て今後氏か北京に於ける勢力は頗る見るべきものあらんと傳へらる

●駐韓露國總領事 前の淸國駐紮露國代理公使プランソン氏は駐韓露國總領事に任せられたるが右に就き京城領事團にてはプ氏は日露戰爭の發頭人中に數へらるへき經歷を有する人物なるに日本が直に之を承認したるは餘りに寛容に過ぎたりとの說あり因に某國よりは外交官補位の資格を有する總領事を駐在せしめん事を申込み來りたるも我か政府は之を拒絕したりと

●卅八年度ジヤンク貿易(上) (營口鈔關報告の概要)

第一、貿易額

本年度當港ジヤンク貿易の總額は一千一百二十五万九千八百十七兩(海關兩以下之れに傚ふ)にして之れを明治三十六年度即ち開戰前に比すれば二百六十三萬六千二百二十九兩即ち約一割九分の減額を示すと雖も前年に比すれは五十八萬六百九十五兩即ち五分八厘の增額を示せり此現象は輸出貿易の不振に基くものにして輸入貿易に至ては日本軍の北進と共に南滿洲一帶の地秩序恢復し土民其堵に安するに至り且つ前年不振の結果俄然膨脹を來せり若し輸出貿易にして今少しく活潑なりしならんには本年度は優に平年以上に達したるなるへし

第二、歲入

本年度歲入の總計は四十四萬四千七百四十八兩にして輸出貿易の甚しく不振なりしにも拘らず前年度に比し六萬七千八百八十四兩即ち約一割八分の增加を示せりと是れ輸入貿易の著しく增進したるに基くものなり

第三、外國港より輸入の外國品

ジヤンクの貿易區域は淸國の沿岸のみにして外國港に往復するもの未た之れ無きを以て外國港より輸入の外國品は一も之れ無し又戰爭と何等の關係無し

第四、淸國諸港より輸入の外國品

淸國諸港より輸入したる外國製品は其總額十萬五千九百十七兩にして前年に比し三十四萬八千九百五十六兩の減少なりと雖も開戰前即ち明治三十六年度に比するに實に十萬二千六百六十一兩の增額を示せり斯の如き大變動は全く戰爭の影響にして今後の趨勢は未た容易に斷する能はさるへし

第五、淸國諸港より淸國製品の輸入

本項に屬するものは前年度に甚しく不振に終りしが本年度に於て著しき盛況を呈し其額九百四十一萬八千二百九十兩(此額中には前年度迄は區別されありし食鹽三十三萬五千五百四十兩を含む)に達し前年度に比し實に三百三十七萬一千一百十六兩の增額を示せり而して其重なるものを擧ぐれば下の如し

品名	前年度に比し增加したる額
淸國綿布	一百十八萬七千九百六十九兩
一等紙	六萬九千零十四兩
二等紙	八萬九千二百七十九兩
老海紙	六十九萬四千六百五十一兩
小麥	十八萬八千九百七十七兩
木材	十五萬九千九百四十八兩
鐵鍋	八萬五千七百八十一兩
藁及草	三萬六千零八十五兩

第六、外國へ輸出の淸國製品

無し、ジヤンクにより外國へ輸出したる淸國製品は一も之れ無し

●帝國軍艦の入港 平和克復後間もなく遼河結氷の爲め我艦の來航を見ざりしが今其筋に達したる報告に依れば明後廿一日砲艦赤城號警備として入港すべしと云ふ而して同艦は艦長海軍中佐羽喰政次郎氏以下乘組員總て百卅二名なりと其主なる人名は

艦長中佐	羽喰政次郎
航海長大尉	鮫島香
分隊長心得中尉	林淸二
同 中尉	桃井篤次郎
機關長心得中尉	古池龍藏
軍醫長大軍醫	安藤三治
主計長大主計	近藤他宗雄
航海士中尉	菊地正宏
分隊士少尉	池田武義

の諸氏にして外に准士官四名下士卒百廿名なりと云ふ

●輕鐵構內公衆電話開始 當軍政署電話局に於ては一般公衆の便益を計る爲め來る六月一日より市內綏定門街及び第二市場、牛家屯の輕便鐵道各停車場構內に電話所を開始し公衆の電話通話を開始するとと爲れるが其料金は一通話十分以內銀十錢にして取扱時間は午前八時より午後十時限りなりと尙通話をなさんとする者の心得とも云ふべき事は豫め係員に就て通話券なるものを受取り之れに對話者の地名及び電話番號を記載し一通話の料金を添へ差出すべしと云ふ

●消防組の活動 出初式早々より合棒の葛藤を惹起し終に退去處分迄受け世人の物笑ひとなりたる營口消防組も其後組中の主なる者等集合し組內の風紀を振肅し一日も早く面目を一新し社會より重要視せらるゝ事に勉め居りしか愈々其第一着として火災及び盜難等の危害を未然に防かん爲めの方法として相當の人員を以て夜警を設けん事を企圖し既に其筋へ願書を差出せりと云ふ果して是等の事實にして實行を見る曉に於ては自ら今日の汚名も一洗せらるゝ事なれば今後とても充分愼重なる態度を以て事に當らん事吾人の切に希望する所なり

●正金のり號貯債再賣出 當地正金銀行支店の取扱に係るり號貯蓄債券は非常の好況を以て期日前に悉皆賣切れと爲り洽く購買者の需要を充たすことを得ざりしを慨み勸業銀行に打電し更に該債券送附方請求中の所二三日前漸く到達せる由なるが目前來ル第一回抽籤を控へ居るとなれば前回に讓らざる好況を以て已に其大部分を賣出し殘額僅少と爲り居れば希望の人は此際至急購求せらるべしとなり

●評議員會 日本人會評議員會を本日午後四時より領事館內に開催すと云ふ

●米國總領事 トーマス、サンモンス氏は奉天及び安東縣視察の爲め今朝陸路出發せり

●高橋領事官補 既記の如く太田官補の後任として當地領事館在勤を命ぜられたる領事官補高橋淸一氏は昨早朝來營せり

●近藤德次郎氏 名古屋商業會議所商工業視察員高橋德次郎氏は一昨日來營目下金城ホテルに投宿

●降旗元太郎氏 代議士降旗元太郎氏は一昨日來營海岸日營ホテルに投宿

●人の噂(九) 遼河輸送業組合は、ゴタゴタして纏りか付かない、これは理事か鈍栗の丈け比へて、統一出來ないのだ、區々たる小感情を拋ち和睦せないと、折角得たる權利を滅却する悲運を見る、歎はしき次第た▲此ころ組合を變して株式會社とする說かある、双手を揚けて贊成す、若し今日の儘に經過すれは、蛇蜂取らすた、同業者達ヨ、一番緊褌して、會社組織を成就して與倉軍政官の厚意に酬へよ、我等は切に其成功を祈る▲戶水汪といふ男、頻りと遼河運河開鑿論を主張す、是は一應面白けれど、二百萬圓や三百萬圓で出來ない、少くも一千萬圓は要る、若し一千萬圓要るとなれは、東淸鐵道と比較問題で、一寸考へ物た、奴さん元來數盲目で、算盤勘定はカラ駄目、併し說として研究の價値はないでもない▲昌圖寺の優婆塞は、營口と大連を見物して、營口の日本人は、犬の脊にある蚤の如く、犬の血を吸ふて、僅かに生て居る、大連はアンペラ垣の如く中か見透されて悲し、惟た營口は大連よりは望みありと、優婆塞お悟の如きこと云ふて、何やら譯らす▲營口の人を見るに、東北地方の人の如く、誰も生氣がない、大連は一層甚しと云は丶、トテモお話にならぬ、噫

●吉勇拍子の手紙(當世書簡作例) 日本館の吉勇拍子と云ふは元大阪の花街で矢張り現在同樣娼賣の左り褄取つたる伉物なるが近頃町雀の噂を盜み聞きした浮名の仔細あら〳〵書きつくれば吉勇が大阪の花柳界で猫の名乘りを揚げ唄女たりし頃心から眞實ゾツ根この妓に熱くなれるさる吳服屋の竹田とか申さるボンチと能々の交情と見え未だに昔の情愛さめやらず距るもの疎とからで日に增す思ひは一日も早く年あけ主の傍ラな事で末の逢瀨を唯だ一念樂しとのみ苦勞する思も牢は打消されて責めては片時にてもボンチの心を安んせんものと不景氣の今日此頃も至極景氣の宜しき如く云ひ送り此分なら追付け借金も拔けます程に今暫しが間隨分おいとひ遊す樣と一心籠めての誠はサテも許かしやボンチには更に喜ばれず頗る不興たる返事ばかりに吉勇も合點行かず四苦八苦血を吐く思で頭を惱ましアーも書かうかこうも書かこうか又しても誤機嫌害ねはせずやと右思左考つ一世一代の思案を廻らしたる末這般は一つ趣向を替へて前とは反對に昨今は兎角寂れ勝ちにて客足も薄く獨り部屋に垂れ籠めては朝な夕なに解けやらぬ思ひを大阪の空に走らせては僅かに心を慰め居る由を細々と封じて送りたるに意外も意外却つてそれが誤機嫌に添ひ程なく嬉しき殿のお文に接したるのみか勿体なくも少なからざる金子に夏衣裳迄添へて數々の賜り物吉勇は之れを手にするより宛ながら天にも昇る心地にて其よりと云ふものは如何な景氣の宜しき折も只不景氣々々と許り其が其都度旦那の悅に入るとはサテ〳〵手紙は考へて書くべきものなり

●營口花信 綏定門街の春日屋といふ料亭に昨年八月から下婢をして居るおきくといふ子は今年取つて僅に十五才だが健康診斷每に必ず入院する何んだか病院へ這入る爲めに滿洲へ來たのかといふ近所の噂である▲日本館のお龍さんは二木屋さんが二百圓出すから勘辨して呉れと頼んで居るのに尙執念深く喰ツ着て居らうとするさうぢや「其金持つて俺れの許へ來て呉れゝば好いに」とは重盛街七十八人組の一人が燒餅よりの繰言である

●正誤 昨紙小蒸汽船とジヤンクの衝突てふ記事中ジヤンクの沈沒云々と記載したるは誤聞にて檣のみ折れて沈沒せしにはあらずと云ふ

火車時刻

關內外鐵道

上り
營口發前八、三〇 七、〇〇 四、四五
溝幇子同九、四五 九、〇〇 二、〇五
錦州同后三、四五 二、〇〇 四、四〇
山海關着六、〇〇 八、一〇 七、五一

下り
山海關發前七、〇五
錦州同后三、五五
溝幇子同二、四五
營口着四、五五

山海關發前八、一五 三、〇〇 北京發前八、〇〇

東淸鐵道

新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五七
溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、五七

上り
營口發前六、三五 后九、三五
大石橋着同七、三〇 一〇、三〇

下り
大石橋發前八、一五 后一一、一五
營口着同九、一〇 一二、一〇

大石橋發前八、〇五 后一一、〇五 大石橋着前七、三五 后一〇、三五

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
營口ブリツジ街 綏定門街 商會東
川喜鐵工場

營口本町二
梅廼家
瀧村太田

西海洋服店
歐米各國最新流行形
(電話百二十七號)

天氣豫報
營口地方天氣豫報
自十八日午後六時至十九日午後六時
南の風晴れ
昨日の氣温 [illegible]

小說

新作小說　おとし胤（六十一）　德田秋聲

此くて光は、父子爵と一所に、子爵の室に伴はれた。室は、西洋室で、丁度客間の楷下になつてゐた。

父子爵は、がツかりしたやうに安樂椅子に腰を下ろして、吻ツと歎息。宛然に大戰に臨んで歸休した將軍のやう。而も敗けたのであるから、忌々しくもあれば、疲も甚い。

「光、ま、紅茶を一杯注いで呉れ。」

此の場合、光は、海鹿子爵に取ツて息杖である。光は謂はるゝまゝに、紅茶を汲んで、ミルクをかき混せながら、これも深い歎息をした。

父子爵の鋭敏な神經は、疾くも其を聞付けて、

「光、汝は、何も心配することは無いぞ。此の父が付いて居るから、決して心配することは無い。」

「いゝえ、何も心配致しませんけれども……」と謂ひながら、紅茶を父の許へ運んで行ツて、「私の事で、お家が何んだか、大層紛紜するやうでございますから。」

「いや、其樣な事を氣にしては可かん。何も汝の知ツた事では無い。」と父子爵は、手を振ツて「全て此の父の、些の不覺から起ツた事ぢや。汝は少しも關せん事なのぢや。併し汝は、辛からうの、む、、故鄉へ歸りたいと思ふぢやらう。」

「は。」と光は、正直なところを謂ツた。

「無理も無いことぢや。」と父子爵は、光から咖啡茶椀を取ツて、「だが、辛抱せい、な。汝に行かれて了ふと、俺が淋しい。」

「ですから、阿父樣と御一所に、小御門のやうなところにゐましたら、何樣なに好いだらうと存じますの。」

光は、此の時、ふと熱田男爵の事を忘れてゐたのであツた。

「俺と一所にか、然うか。」と海鹿子爵は、淋しく笑ツて「或は、其樣な事になり行くかも知れん。」

「若し其樣な事になりましたら、眞箇に可うございますけども。」

「貧乏をしてもか。」

「は。」と謂ツたもの丶、光は、深く貧乏といふもの丶味を知らぬのであツた。

「何樣な辛い目に逢ツてもか。」

光は、たゞ點首いた。

海鹿子爵は、心から悅しくてならぬやうに、「よし、よし。事に依ツたら、斷然其樣な事にしやう。また今夜の模樣では、然うしなければなるまいて。彼奴等、下劣な根性から金力でもツて俺が頰を張らうとしよる。」と謂ツてさて、獨言「金でもツて、他の意思が自由に出來るかえ。他を迫害するのも大概にしとけ。痩せたりと雖、海鹿には海鹿の意氣がある。高壓手段は、俺には無効ぢや。爵位が何んぢや、華族の禮遇を停止されたら停止されたまでぢや。海鹿に、たゞ一介の人間として、人の意思を尊重する、箇人の權利を尊重する、家の爲?……家門の爲?……いや、舊思想ぢや〳〵。人權は絕對ぢや。家よりは、人が大事だ!」

此の間、光の眼には、父子爵が、何やら深く考込むでゐるやうに見られた。それで光も、默然として扣えてゐると、父子爵は、

「光。」と呼掛け「だが、何んぢやぞ。汝はな、俺の娘として、何うしても園遊會に出なければならんぞ。出て呉れ、な。嫌かも知れんが、此の父の爲と思ふて出て呉れ。俺も、汝も、園遊會を最後として、華族の境遇を脫けて了うのぢや。最後の思出ぢやから、一ツ思切ツて華美な園遊會をして、常識家の俗物共を驚かして遣らう。な、光、汝も一度だけ華族の娘になれ。」

光は、何んの事か能く解らなかツたが、

「私、阿父樣のお爲なら、何樣な事でも致します。」

「然うか。よし。所謂意地づくといふものぢやから、俺は、何うしても園遊會を行る。」と勢好く謂ツて「併し、光、汝は、此の父が、何樣な貧乏しても親と思ツてつかへるか。」

光は、父子爵が、何故此樣な事を聞くのかと思ツて、眼を睜りながら、

「だツて、阿父樣。何樣なになツても、阿父樣は、阿父樣ではございませんか。」と謂ツて、光は、ふと氣の付いたやうに、「ですけれど、阿母樣は、何故私をお憎みなすツたり、阿父樣のお意に悖ツたりなさるのでございませう。」と其の邪氣ない心から、憚り氣なく訊ねるのであツた。

父子爵は、苦々しげに傍を向いて、

「あれか。あれが其の華族根性といふものなんだ。」

●代議士に文明と野蠻の講義　內地や大連で左行令に慣れた邦人の當地に來ては右行令の爲め支那巡捕の御目玉頂戴し彼我言語不通往々滑稽が演せらるゝ蓋し當奉天では當時軍隊の遺法であつた右行令を平和の今日其儘清國警察で遵奉し一般內外人に强ひつゝあるものであるが先日の事大連から當地に來た某代議士が大西門を左に出んとして忽ち巡捕の劍突を喰つた併し言語不通の難有さには代議士は其儘通行せやうとすると巡捕は銃劍を横たへて之を制止した而して手帳を取り出して君は文明國人であつて何故右行令に從はないで野蠻の行爲を敢てするかと散々文明と野蠻の講釋を筆談で試みた（奉天來信の一節）

告示

五月十四日第五、六回懸賞捕鼠抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得可し

當籤者は五月廿五日迄に衞生局に至り當籤札と引替へ賞金受領す可し若此期限を經過するときは其當籤効力は消滅す

二、賞銀額

一等　銀五十圓　二等　銀十圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

譯文

本月十四日施行第五第六拈鬮鼠票得彩號碼如開於左其得彩者五月廿五日以內各携原領執照往赴衞生局領銀可也若過期不赴領者將其得票作消廢爲此特示

賞銀額　一等　銀五十圓　二等　銀十圓　三等　銀二圓　四等　銀一圓

第五回捕鼠抽籤當籤番號

一等　二等　三等　四等

三二一四　八二　一一二二　三九五　八五三　八四九　六三八　三一四三　三三五〇　七八七　二一二八　八五七　二六六七　二四四三　二一八五　二八六　一九九四　七二　七〇三　二四七二　四六二　二三二〇　一九四一

三二七六　二八九四　二六〇四　二〇三五　八三七　二二九九　二八五　九五三　五三五　二九〇〇　四五二　二八四八　二八二八　三五九四　六五三　五八九　三五九六　二一三八　四一　二八八九

三五〇九　二五四五　四一一　二八八三　九〇四　三二八八　三〇一二　二二七九　二〇八四　一三七　三八九　六九　四三九　一九二三　六五四　一三七一　三〇九〇　三四〇九　一八五七

三三九一　一九三八　一八二七　三六一八　一四四六　二八三五　一八四八　二五八四　九九三　一七五一　三二一四　七六七　二〇一六　二七八　二九五　一九一三　四〇一　三一六六　一〇七九

第六回捕鼠抽籤當籤番號

一等　二等　三等　四等

四〇六　三〇八七　二〇六二　一二七一　四〇七　八五五　二三二四　四三〇　三〇二　三三二七　一九一五　一四〇四　二二七三　一三五八　二二五七　一二九一　三〇七七　二一　三九三　二八六二　二八七三　五九七　一五一〇

三一八二　二三九四　三一六九　三二六三　一八五二　二五一九　四〇九　三〇三〇　三〇九四　八〇四　三二一二　一八六七　二八七七　三一三二　一三九四　三二四七　二八八六　三〇九四　四〇〇　二〇三一

九八九　三一一〇　六五五　一三七〇　二九九〇　一八五三　三〇一三　三四〇六　一八九五　三六一五　一七九三　三四七八　一八四六　二三〇　三二〇七　三五九〇　三一二〇　一五六二　二四一六

四二　一〇六一　二八六一　八七四　二八六五　一八五四　二一三一　四四三　二二四八　一八八九　九〇五　三〇九一　一七三　三一五〇　一三二四　三一一四　一二六　三三二二　二九〇七

告示

曩キニ公衆日本文電報ヲ取扱ヒシ滿洲各地通信所ニテ五月十五日即チ淸曆四月二十二日ヨリ中國電報新編ニヨル淸國文公衆電報ヲ取扱フコトナレリ其電報料左ノ如シ

一、滿州各地竝ニ韓國ニ到ルモノハ一句四字每ニ二十錢トス

一、滿洲ヨリ日本ニ到ルモノハ四字每ニ三十錢トス

右告示ス

明治三十九年五月十四日　營口軍政署

告示

凡前所通達日本電報之滿洲各通信所今擬定自東歷五月十五日即淸歷四月二十二日起凡通淸國電報者可便用通行電報號碼特將電費開列於左

一、到滿洲各地並高麗每句按四字核算銀二角

一、滿洲至日本每句按四字核算銀參角

明治三十九年五月十四日　營口軍政署

廣告

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す

▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄

▲姙婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森　矯

副院長　醫學得業士　長船郁太郎

一本院齒科開設（五月一日より開始）

齒科醫　兒島市郎

森病院（電話一五五）

競爭入札廣告中訂正

五月十日附廣告の重燒麵麭二万四千箱を一万九千箱と訂正す

明治三十九年五月十六日

滿洲軍倉庫遼陽支庫殘務取扱所

廣告

長曾龜之進

岩尾伊助

右之者同業組合員に對し物品代金不拂に付組合規約に依り爾後組合員中は該人と取引を謝絕す

明治三十九年五月

營口材木商組合

廣告

今般代々木商會ヲ辭ス

津田壽一

小繖　來原慶助君著

イロハ索引附

對譯清語活法　全

附錄　支那時文速知

（定價金五十錢　郵稅金六錢）

袖珍用旭皮表紙頗る美釘紙數三百餘頁

此書は著者來原慶助君が曾て陸軍通譯官として黑木軍に在りし際の陣中著述に係り高評嘖々たるは巳に世人の熟知せる處刻下滿洲各地方に活動せらる、の同胞諸君乞ふ一本を備置せられんことを

發行處　東京市神田區裏神保町一番地　三省堂書店

御披露

今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候

月　日

鐵嶺西門外火神廟六十一號

支店　高砂ホテル

開業

日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

月　日

元神廟街二四八號（電話局向）

義安公司

廣告

和洋雜貨

盛遠商行

新着

椅子卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ピロードセン。

新荷着

銘酒劍菱

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候

遼陽停車場向ヒ

池上出張店

大阪商船會社荷客取扱所

船舶代理店貸借仲立輸出入稅關手續

瀛船出入港案內

盛航丸　廿四日入港

能登丸　廿一日　門司直行四日市行

御乘船の御方は御一報次第切符持參仕候尙御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

解船人夫運搬請負

水陸輸送貨物仲次所

倉庫業

諸品委托賣買

西北街

德重洋行

一稅關手續　一倉入貨物

一船舶貨物　一貨物保管

一日本帆船　一委托販賣

取扱

營口永世街市街鐵道驛前

心　精心洋行

主任　岡本嘉吉

M. Iizuka,

Contractor,

Architect and Civil Eginneer.

Plans and specifications made to rder.

Estimates submitted.

MODERATE RATES.

No. 151 Yuwansinmiao

Ying Kow

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南裏第三十六號

北斗洋行質屋部

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材

營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

資本金參拾萬圓
日清合股

昌

營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社 **營口分局**

總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關內外鐵道又海外轉運(與大淸滿運公司連接)東淸鐵道沿路概要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧務祈貨客親自到本明局及各處分局面議爲荷特誥白倘有途中水濕毀壞短少等事皆本公司肩承明按該地市價包補此

第二回新荷着

惠比壽ビール
YEBISU
TRADE MARK
登録商標
DAI NIPPON BREWERY CO. LTD.
TOKYO JAPAN
大日本麥酒株式會社

金纤洋行
盛進商行

美味安價西洋料理 牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
(電話八十六番)

ペンキ塗請負
京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

東營口西北街
裕和盛
電話八番
東淸鐵道 遼河 貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール 日本酒澤の鶴 洋酒、食料品 和洋鑵詰、食器 內外煙草、葉卷 エジプト、文具 化粧品、金物類 肥前白米、醤油 酢、木炭、其外 色々 卸並に小賣
彩票
每月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)

發賣 材木 棕子 木板
塩川商會
遼陽小西門內
鹽川商會 ●建築
外に
用材 電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

白米、醤油、味噌、木炭、
酢、淺草海苔、罐詰、乾物、
日用雜貨、漬物類、清酒
澤龜特約 其外和洋酒類

營口永世街第廿八號
大原洋行
(營口無比廉價販賣す)

工

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

廣告
大阪鐵田組支店開設
今度新に內地より技師及職工を傭聘し土木建築一切の受負業務開設候に付大小に拘らず御注文の程奉祈上候
假事務所營口西北街高砂ホテル內
主任 鐵田米吉

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 **東京樓**
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)

御席和洋料理 **東京樓支店**
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

一、**稅關手續**
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一爲替附キ荷物ヘ便利ヲ計リ可申候
一引換書御提附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達致ハ保管可申候
市場時計 北店 三ノ二階樓
宮原公司

大勉强
一會席 三ツ鉢吸物附 御一人前銀三十錢より
一まめめし 御一人前二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候
營口元神廟街二〇九號
月ノ **翁亭**

御料理
板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ**雪月花**ノ會席ヘ御意ニ從ヒナンデモヅス
ゲンシン ピヨガイ **まつのや**
新來の姿婷東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓
ふで
仝 松吉
仝 二〇か
義太夫 牛莊
御客樣方

會席料理
三日月
營口警務課前南に入る

山口縣人親睦會廣告
來る二十日午後正六時營口時計より二本町日本館に於て第三回親睦會開催候間御誘引御出席被下度希望之至り候
一會費銀三圓當日御持參の事
一御出席の方は二十日正午迄に日本館へ御申込被下候
五月十七日 **山口縣人會幹事**

開行　天津　北京　發三、四　廿六、壁　山海關着　六、二〇　六、一　大連着　昌圖着　二三

論說

論中國急宜振興工藝以謀富強

今使一人與一人遇。此巧而彼拙。則巧者必得其利益。而拙者必失其利益可知。一國與一國遇。則此國智巧。必百業奮興。彼國鈍拙。必萬端隳廢。橫覽方今之時代。五洲並峙。交通互換而無難。萬國迭雄。生存競爭而愈烈。在昔王公設險以守其國。鄰邦轍迹。往返維艱。宇外山川。搜求莫及。閉關自守。列服相安。古時之閉塞。厥亦有由。緣其時舟車之製造未精。信息之靈通無自。縱有游心象外。馳騖八極之意想。而牽裳徒涉。難逾重洋。兩馬一車。焉周大地。險阻所限。即無以極其行蹤。遍覽坤輿之勝。今乃環球近如萬里。各國接如比鄰。欲攷查政治。則大經大法。俱有成書。不啻導光明於先路。欲研究工商。則一物一名。均經實驗。何殊樹標準於前車。使生於此時。國於此際。尚不知加意鑽研。及時振奮。亦惟有歸敗而已。失機而已。攷列強大勢。法以織業著名。德以製鐵著名。英以造船陶器著名。美以棉布製機。各種工藝著名。其他澳瑞西比荷丹土意等國。或以造酒著。或以魚肝油著。或以錶器鐘表著。皆卓然名家。足以自立於商戰劇烈之世界。即我亞洲之日本。變法維新。三十餘年。各種工藝製造。駸駸乎並駕列強。而毫無退讓。至工業盛。則農產可資爲原料。而無生貨之滯銷。商業愈見其發生。而無懋遷之掣肘。據最近最確之調查。各國因製造日夥。其進出口貨物。至多如美。達七十餘萬萬。俄法英德。亦三四十萬萬。二三十萬萬不等。澳荷意比等國。尚十餘萬萬。日本亦十餘萬萬。中國僅五萬萬餘。以中國地大物博。農產則種類繁多。礦產則無物不有。若振興工藝。提倡製造。進出口貨物。必有突過他邦數倍之日。矧各省商埠林立。交通最便。電信四達。聲息亦靈。加以鐵路日漸擴充。愈接愈長。愈多愈便。轉運捷速。互相輸注。千里之外。一日可通。萬噸之貨。咄嗟可致。然中國雖占如此之優勢。使無在上之人。極力誘掖獎勸。亦難期日起有功。爭勝利於將來。杜漏巵於既往。必國家先定其賞罰之條。使人人皆知大利之所在。而趨之若鶩。然後父詔其子。兄勉其弟。以爲如是則可優勝。不如是即形劣敗。舉向日之土法製造。一一考求。若者善。若者不善。何物運至彼處。而可暢銷。何物運至外洋。而可以多售。投其所好。審其所宜。華人擅長商業。從古著稱。上有好者。下必甚焉。萬衆一心。孜孜兀兀。而猶不能製器日精。行銷日廣。無是理也。何以言之。東西各國。前事可師。不異燭照而龜卜。斷無有工藝進步。而銷場無著。虧折損耗之事。惟望吾華。合全國人之心思智慮。同注重於斯途。中國原有之絲茶磁器。本爲出口大宗。苟能精益求精。磁器則仿行新式。絲茶則必冀純良。依類精研。漸臻完備。他如軍械多購於外洋。自製果精。不但可挽利權。且可緩急有備。無待借助於人。輪船亦購於他國。如能自造。船艦日多。通達日遠。龍章焜燿。輝映五洲。既可以謀商利。又可以張國威。何至如今日之勢。歐美兩洋。無中國之片帆隻檝。四萬萬人民。數千萬方里之國。誠爲減色。不及歐美諸小邦。尚各輪船數十百艘。兵艦多寡雖屬不一。要皆能馳騁於全球。周迴於四海。在民人則增其識見。資其游歷。可爲各業植其基。在國勢則宜其聲威。通其情好。可爲交際謀其益。甚矣今日之世界。種種便利。皆自工藝發達。有以致之也。可勿亟亟以圖。提倡而振作之歟

北京電報

●英國委員與楊撫會議

西五月十六日威海衛租借地委員落苦哈多君抵青島聞落君由該地前往濟南府與楊撫面商還附威海衛事宜並自濟南府至楊子江岸布設鐵道等之問題云（西五月十七日發）

●南北兩軍聯合大操

聞中國陸軍於本年秋季南北兩軍聯合舉行大操云

●外部覆答英美二國

日前中國創設督辦稅務大臣管轄中國各處稅務英美二國頗挾異議因而抗議於外部外部唐侍郎覆答云此次更革唯不過以從來在外部之管轄下者移之於稅務大臣秋毫未減英國總稅務司之權利云

●奏請擬設通商地

此次奉天將軍趙次帥奏請擬自省城西門外至火車站所有五里平方之地開爲各國通商之區云

●內田欽使回國

駐京日本公使內田君於西五月十九日由北京啓程抵天津於翌二十日由該埠搭輪船就回國之途云（以上西五月十八日發）

中外要聞

●關於派稅務大臣問題　京津泰晤士報關於中國派鐵尚書唐侍郎節制稅務一事申明中國政府對列國現將海關爲賠欵之抵押並借英國欵亦爲之抵押然列國及英國迄今平心靜意者實因聘請英人置之上位統制海關稅務也而中國政府突然無故選任大員加之於赫宮保之上位以便節制而令宮保之唯命是聽查此事於中國當然之義務實有窒礙但推究其意或疑將稅關收欵挪用別用亦未可知也

傳聞中政府對赫宮保並其幕僚有諭其免官之說查無實據然派稅務大臣之事雖對赫宮保未明爲罷免然赫宮保亦失其勢力勢故然也蓋英政府與中國交涉常示以隱忍待以溫和現於昌教案英國提議可以知矣於是中國肖犴于英國乃其意在於英駐京薩欽使已卸任回國而新欽使尚未接任之時倏出此舉以收回稅權也

抑此論頒布在前禮拜三其明日英政府已知之吾人私望英政府飭令使臣折衝適宜從速辦結萬無貽誤也而願薩欽使亦再回京俟或中國變改政令或新欽使履任始行回國云

據益聞西報云改革稅務一事中國政府對于赫宮保事前未與詳商事後始行通告故宮保亦對當軸舉動稍抱不慊現聞由薩欽使特電致駐京使署云此次之事於大局尤有吃緊關係故俟余與外部回京妥議辦法以期令有眉目也

●德官砍傷巡警兵案　德國官砍傷巡警一事已誌昨報茲聞巡警右路第一局胡區官日前親赴德國使館面晤德參贊而德參贊云巡警不應揪扭馬韁胡區官云巡警僅僅指揮並未扭韁以在衆目所覩德參贊始緘默無語並聞外部已照會德使署大略令將武員由德自行懲辦而華巡警之養傷費應由德償給云云

又聞此案由警部知照外部照會德使乃德使覆照堅稱該巡兵無禮致德員不得已用刀將該巡兵砍傷實非有心云云德使可謂善于措詞規避矣不知警部如何對待

●版權擬入同盟保護會　聞學部商部會議擬訂著作版權一事一俟將條律專利限期註冊事宜決定宣布後並擬與各國欽使商議入萬國同盟保護美術與著作會以重版權

●張軍門赴奉啓程　宣化鎮張軍門日內帶領後路巡防馬步隊十營由宣化起程前往奉省駐防鈇路總局已派火車在豐台等候換乘火車前往

又宣化鎮張軍門勳帶領後路巡防馬步隊十營於二十一日上午由豐台乘火車共開加車二次至下午二點半鐘過津一次三點鐘過津一次直赴奉省駐防又二十二日亦開加車二次由豐台至下午過津開往奉省

●奉省購槍　奉省轉運局派差來津購軍械曼利夏快槍八百餘桿共計四十二箱子彈九十九萬粒共計九百九十箱並帶零件均於二十一日由津裝火車運往奉省預備應用

●籌修蜀藏電線　聞四川總督錫良電外部略稱與電政大臣電商允認川省由打箭爐接修電線直通巴塘現已竣工復與幫辦駐藏大臣聯豫商議再由巴塘接修電線至察木多（幫辦西藏大臣駐紮地）以便消息靈通俟察木多電線修竣再接修達布拉城現已派員購備材料督飭興修矣

雜報

●挾嫌致死　今晨一民傳曰昨午太古行中街適有甲乙二人各乘東洋車馳騁乙向西來甲向東往聞其二人素蓄睚眦之嫌而相逢狹路分外眼明各跳下車憤相鬥狠甲以利刀戳傷乙脇血湧如注舁於車上行數十武即爲斃命相傳甲乙皆係關帝閣西街富商東主市門僅相斜對而甲猶屬有名商人不圖爲此鬥狠戳乙亡身罪坐兇囚追悔何及咸曰斯蓋夙世之寃孽云云按此與王姓葉姓之事不知是否即此訪聞若斯姑並錄之

●舟覆傷財　昨午後有錦州蛤螞石金姓者身帶現洋百四十元特雇舢板過河行至中流忽然翻覆船戶與金當時皆溺於水中幸被大船撈救客帶之洋順水沉沒云

●燒香者請看　有老邊屯友人云該處有李姓者新娶一婦特隨其姑乘一大車至岳州廟燒香了願事畢還家車至家東七八里忽然驚逸車從新婦脊間而過口出鮮血當時斃命云

●雷震致死　有河北車站友人云於前日晚間忽然天變雷雨大作有寧河縣劉姓雅堂者因雨回寓將至院內忽然霹靂一聲當將劉姓者震倒大聲呼曰不好屋內諸人齊往扶救則已斃矣

●尋芳肇禍　昨午後有玉昌棧之東王姓者在東營妓館吸煙忽來一人手掀門簾而觀之王姓者問曰何來其人答曰尋人當時而去王姓雖大呼曰好臉子其人聞之速回問其何爲好臉子二人爭論意欲爭鬥傍有歌妓互相勸免王姓速乘東洋車而逃其人在後追至太古東邊將王姓由車拽下手出腿叉連扎三四處幸有來往行人勸之其人始臨去伸其大指而言曰吾乃葉姓東盛和之少東云云

●更正　昨報所登載總稅失權一節全屬謬聞不確河北郵局並無來告者其事亦頗牽强故即行更正

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種冊籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之取購本處者其價目格外公道貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

NEWCHWANG, SATURDAY, MAY 19, 1906.

Mr. T. Sammons, the American Consul-General, started for Mukden this morning. Mr. Chen Yung of the Foreign Board, Mukden, took the same train for home.

Mr. M. T. Liang, Haikwan Taotai of Newchwang, left Chenchow last Thursday for Mukden arriving there last evening, presumably to receive instructions on his new duties from H. E. Tartar-General Chao Erh Sun.

We learn that Sister Philomene and Sister Simplicie of the Catholic Mission at the port have been transferred to Liaoyang and will leave for the north next Tuesday (the 22nd inst.)

Sister Marie Rosine, Mother Superior, will start with the other sisters on a month's visit to Tieling.

Rev. Mr. W. Hunter of Kwanning came to the port last Wednesday and stayed with Mrs. Van Ess till his departure for home yesterday morning.

There was a regular meeting of the Wan Kwo Yen Shuo Hui last evening. Mr. B. Carlos gave an interesting lecture in Chinese on astronomy, which effort was very much appreciated by a large attendance.

YESTERDAY'S TOKYO INTELLIGENCE.

Marquis Ito returned to Oiso on the 17th inst.

Mr. Uchida, Japanese Minister to Peking, will leave the capital to-day and, after staying overnight at Tientsin, will start for Japan to-morrow (the 20th).

H.E. Chao Erh Sun has memorialized to the Throne recommending the allotment of an area of 5 Chinese square miles lying-between the West Gate and the Railway Station of Mukden for the site of the proposed international settlement.

Mr. M. Kato, Vice-President of the N. Y. K. has embarked on a tour of Europe and America.

A German mail steamer bound for Nagasaki from Yokohama, got shipwrecked during the dense fog on the 17th last, in the neighbourhood of Okinoshima, the scene of the great naval fight nearly a year ago.

The Wolff Associated Press, Berlin, has announced that Germany disclaims any intentions on her part of creating a naval base on an island southeast of Borneo.

THE PROGRESS OF THE GENERAL VACCINATION, (PART II).

(Continued from last Thursday.)

In view of the divers causes promoting apathy in the native mind towards vaccination, the Administration had previously called together the Chinese members of the Sanitary Committee, in order to impress them by a plain lecture the dreadfulness of the smallpox, the protective efficacy of vaccination, and the simple operation attended with little pain, so that they might in their turn explain those points to their fellow residents who, undeceived out of their errors, have availed themselves of the kind offer in such large numbers as exceeded the highest expectations of the medical authorities.

The General Hospital was employed for receiving applicants in West Yingkow.

East Yingkow was divided according to the police districts and in each district, likely houses situated at a favourable location were temporarily rented for the vaccinating stations with the ready consent of the occupants.

The Chinese women insisting upon strict privacy, separate apartments were provided for the females.

The native houses even of the better class, beiug as a rule insufficiently lighted and full of dust, are not well-suited for such medical purpose. Besides as they have mostly only one opening for egress and ingress, considerable inconvenience was experienced especially when a large crowd of applicants were found in waiting.

The physicians found much trouble in cleansing the dirty skin for the operation. Shaving with the razor was out of the question with the surging multitude. Besides, it had the drawback of subjecting the women and children to a needless fright. Cotton saturated with alcohol was used in ordinary cases, but in others which required a regular scraping, soap and warm water was furnished to do the cleansing work.

The females show an intense aversion to their being held by strangers, be they doctors or no doctors, and this peculiarity was respected throughout.

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理　元神廟街九十六號（電話八四番）　第一樓　第一營口ホテル

料理　永世街百八十三號　入船亭　谷初次郎

旅館　河岸通り　日營ホテル　店主 井上源吉

料理　永世街八十六號　東京館　店主 村上京四郎

旅館　西北街百七十三號正金銀行西三軒　東茂旅館

料理　元神廟街百三十三號　千鳥　店主 吉住善藏

料理　永世街百六十四號　沖の島　店主 中川彌三郎

料理　永世街八十六號　吉野亭　店主 坪田正好

旅館料理　西北街（電話一四五番）　高砂ホテル　高砂亭　店主 片山小みつ

旅館　永世街三十四號（電話十一號）　大和館　店主 前田九一郎

料理　南永世街第十號　滿洲樓　店主 直塚勝一

料理　壹滿門街第百〇四號　萬梅　店主 田島彌助

料理　永世街字三本町三百五十九号　まんなをし　店主 和田常松

和洋料理　南永世街　公樂園

旅館料理　永世街百六十六號　金城ホテル　第二金城ホテル　店主 齋藤富次郎

旅館料理　永世街百二十七號　醉花園　澁谷旅館　店主 澁田留吉

爲替相場（五月十八日）
日本向 百〇二圓（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩四分ノ一（同）
天津向 一百〇三圓八（百弗に付）
芝罘向 一百〇三圓五十錢

料理　營口平野町　喜樂亭

旅館　永世街七號　東雲旅館　店主 谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　第二更科　營口元神廟街　永世街鶴の湯角

御料理並ニ溫泉　毎日新湯　一力　營口永世街　店主 堀万助

和洋料理　營口元神廟街一四三号　松月亭　住松信大郎

料理　平野町　都樓　店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　奉天小西關大街北側　瑞豐館　館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　溫泉付大勉強キレーデフイレと　天神樓　奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店　奉天小西關大街南側　日盛館　館主 入江熊男（電話　號）

旅館料理店　奉天城內灰市街東華門宮殿東側　梅松館　館主 押尾富次郎（電話　號）

御料理　奉天小西門より一丁西の辻北入　梅ケ枝　館主 辻井よノ

高等御旅館　奉天小西關大街路北　茂林館（電話二十五號）

旅館料理店　牛肉すき燒　雞肉　奉天小西關大什字街南へ入　日章館　日章亭（電話　號）

旅館料理店　奉天大西關　旭館本店　奉天十間房　旭館支店　館主 原田新吉（電話　号）

御旅館　奉天小西門外大街路北　瀋陽館

日本品最近物價表　加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓六十錢
一美濃紙 全 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任 林德松

御料理會席　菊水館　主任 朝枝國推

旅館西洋料理　遼陽館　主任 永瀨宇吉

旅館料理業　公陽館　主任 宮川秀[illegible]

御料理會席　末廣屋　主任 山根初之丞

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任 古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任 谷口今朝太郎

御料理會席　玉家　主任 西野治三郎

御料理會席　來々亭　主任 石田清

和洋料理　御旅館　遼陽西街西門一二七号　滿洲ホテル　上松榮治郎

今有賓州廳之東老營口街永增裕郝俊卿於二月初旬在哈爾濱上火車被匪人將遂帶銀元包壹個計洋拾五元內有奉天德源布櫃存錢條一紙計瀋錢五萬八仟三百吊其條上註期至四月初一日見條付錢因此條已失本號今在省至期業將存錢如數使出倘失之原條日後稍見來討即作廢紙勿付切切

奉天天然清水氷發賣廣告
倉庫へ儲へ　毎倉庫約二十五万斤
特約一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外內　大仁洋行

一全狀袋 二十枚綴 三錢二厘以上四錢 百枚 十三錢以上十八錢
室內裝品飾及寢具　矢野洋行
一需圖 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十帖 ㄨ圓五十錢以上三十五圓

遼陽城內東街
一和洋御料理　遼東館
本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候て付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館　御料理
扶桑館
奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号
館主 堀田ハル　電話　号

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船賴朝丸、摩耶山丸、第二搖海丸、中國丸の四隻を以て大坂、神戸、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿洲內地には左の箇所に出張所を設け海陸輸送及輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也
本店　大阪市西區西道頓堀貳丁目　河邊商店
支店　營口元神廟街　松茂洋行
大連信濃町百十一號　松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路　松茂洋行出張所
鐵嶺西門外　昌圖府驛　松茂洋行出張所
猶東清鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

古料理
滿月　平野町（電一六二）
滿月支店　平野町入口
店主 青木勝惠

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位様

一疊表 二圓六十錢以上三圓
一麻蚊帳 十枚 八圓
一麻緞通 一疊敷 三圓
一綿緞通 全 三圓五十錢

淸國の情況を知るは現下の急務なり淸國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ

北支那叢書 第壹編
支那政府組織 全
定價一圓
人軍諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ
販賣所　營口重盛街　滿洲日報社

各國高等雜貨　電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種　籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山
營口永世街　川支洋行雜貨部

新荷着
高等麥酒スペシヤルライト
スペシヤルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尙夏期唯一の好飲料なり
釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品務期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤　耑此佈告

（營口永世街）
回天堂三木大藥房
存案　招牌
經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具染料
●消毒及繃帶𣏌料
●肥皂（胰子）牙粉白粉香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●此外醫藥應用所有一切各貨應儲全
（電話百九十番）

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy. 80 cts. per month.
本紙定價　一枚二付 銀四仙　一ケ月前金 軍票八十仙　半ケ年前金 四弗八十仙　一ケ年前金 [illegible]